

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月8日

上場会社名 株式会社フジシールインターナショナル

上場取引所

コード番号 7864 URL https://www.fujiseal.com

(役職名) 代表執行役社長 CEO

(氏名) 岡崎 成子

問合せ先責任者 (役職名) IR室長

(氏名) 後藤 文孝 TEL 06-6350-1080

四半期報告書提出予定日 2024年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 四半期決算説明会開催の有無 :無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1)連結経営成績(累計)

代表者

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	144, 730	6. 3	9, 190	48. 3	10, 222	68. 6	7, 602	123. 9
2023年3月期第3四半期	136, 141	6.8	6, 196	△34. 9	6, 063	△37. 4	3, 394	△37.6

(注)包括利益 2024年3月期第3四半期 13,673百万円 (△3.0%) 2023年3月期第3四半期 14,101百万円 (122.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益		
	円 銭	円 銭		
2024年3月期第3四半期	138. 77	_		
2023年3月期第3四半期	61. 99	_		

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	196, 419	132, 360	67. 4	2, 415. 71
2023年3月期	180, 004	120, 571	67. 0	2, 201. 40

(参考)自己資本 2024年3月期第3四半期 132,360百万円 2023年3月期 120,571百万円

2. 配当の状況

		年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円銭	円銭	円銭	円 銭	円 銭	
2023年3月期	_	17. 00	_	18. 00	35. 00	
2024年3月期	_	17. 00	_			
2024年3月期(予想)				28. 00	45. 00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:有

配当予想の修正については、本日(2024年2月8日)に公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧下さ い。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	高	営業和	引益	経常和	引益	親会社株芸	Eに帰属 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	196, 000	6. 5	12, 600	53.8	13, 800	63.8	9, 000	31.0	164. 28

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:有

連結業績予想の修正については、本日(2024年2月8日)に公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧下さい。

2. 当社は2024年2月8日開催の取締役会において、従業員持株会を活用したインセンティブ・プラン導入について決議いたしましたが、連結業績予想の「1株当たりの当期純利益」については、この影響を考慮しておりません。詳細は本日(2024年2月8日)に公表いたしました「従業員持株会を活用したインセンティブ・プラン導入に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無 新規 - 社 (社名) 、除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
① ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	60, 161, 956株	2023年3月期	60, 161, 956株
2024年3月期3Q	5, 370, 396株	2023年3月期	5, 391, 436株
2024年3月期3Q	54, 783, 179株	2023年3月期3Q	54, 762, 684株

- ※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四	四半期決算に関する定性的情報	2
	(1)	経営成績に関する説明	2
	(2)	財政状態に関する説明	4
	(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2.	四当	半期連結財務諸表及び主な注記	5
	(1)	四半期連結貸借対照表	5
	(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
		四半期連結損益計算書	
		第3四半期連結累計期間	7
		四半期連結包括利益計算書	
		第3四半期連結累計期間	8
	(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
	(4)	四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
		(継続企業の前提に関する注記)	10
		(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
		(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
		(会計方針の変更)	10
		(会計上の見積りの変更)	10
		(四半期連結損益計算書関係)	10
		(セグメント情報)	11
		(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高1,447億30百万円(前年同期比6.3%増)、営業利益91億90百万円(前年同期比48.3%増)、経常利益102億22百万円(前年同期比68.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は76億2百万円(前年同期比123.9%増)となりました。

(単位:百万円)

			(十四, 日7717)
	2023年3月期	2024年3月期	増減率
	第3四半期連結累計期間	第3四半期連結累計期間	百00年
売上高	136, 141	144, 730	6.3%
営業利益	6, 196	9, 190	48.3%
経常利益	6, 063	10, 222	68.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	3, 394	7, 602	123.9%
米ドル平均為替レート(円)	128. 30	138. 24	7.7%
ユーロ平均為替レート (円)	136. 05	149. 77	10.1%

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

	2023年3月期 第3四半期連結累計期間	2024年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率	現地通貨 増減率
日本				
シュリンクラベル	36, 346	38, 322	5.4%	_
タックラベル	7, 012	6, 225	△11.2%	_
ソフトパウチ	15, 307	15, 406	0.6%	_
機械	3, 881	4, 113	6.0%	_
その他	9, 638	9, 890	2.6%	_
売上高合計	72, 186	73, 958	2.5%	_
営業利益	5, 764	6, 665	15.6%	_
米州				
シュリンクラベル	31, 113	34, 288	10.2%	2.3%
タックラベル	1, 385	1, 347	△2.7%	△9.7%
ソフトパウチ	249	207	△16.8%	△22.8%
機械	3, 286	4, 270	30.0%	20.6%
その他	833	591	△29.0%	△34.1%
売上高合計	36, 868	40, 706	10.4%	2.5%
営業利益	1,809	1,882	4.0%	△3.5%
欧州				
シュリンクラベル	11, 424	13, 168	15.3%	4.7%
タックラベル	4, 103	4, 273	4.1%	△5.4%
ソフトパウチ	139	_	_	_
機械	5, 108	5, 519	8.1%	△1.8%
売上高合計	20,776	22, 961	10.5%	0.4%
営業利益	△975	661	_	_

		2023年3月期 第3四半期連結累計期間	2024年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率	現地通貨 増減率
	アセアン				
П	シュリンクラベル	6, 278	6, 386	1.7%	△5.6%
Ш	タックラベル	165	141	△14.9%	△21.0%
Ш	ソフトパウチ	5, 950	6, 281	5.6%	△2.0%
	機械	230	420	82.8%	69.6%
	その他	205	58	△71.6%	△73.6%
	売上高合計	12, 830	13, 287	3.6%	△3.9%
Ĺ	営業利益	△57	231	_	_

(日本)

シュリンクラベルは売上高383億22百万円(前年同期比5.4%増)、タックラベルは売上高62億25百万円(前年同期比11.2%減)、ソフトパウチは売上高154億6百万円(前年同期比0.6%増)、機械は売上高41億13百万円(前年同期比6.0%増)、その他は売上高98億90百万円(前年同期比2.6%増)となりました。

その結果、日本全体の売上高は739億58百万円(前年同期比2.5%増)、損益面は営業利益66億65百万円(前年同期比15.6%増)となりました。

(米州)

シュリンクラベルは売上高342億88百万円(前年同期比10.2%増、現地通貨ベース2.3%増)、タックラベルは売上高13億47百万円(前年同期比2.7%減、現地通貨ベース9.7%減)、ソフトパウチは売上高2億7百万円(前年同期比16.8%減、現地通貨ベース22.8%減)、機械は売上高42億70百万円(前年同期比30.0%増、現地通貨ベース20.6%増)、その他は売上高5億91百万円(前年同期比29.0%減、現地通貨ベース34.1%減)となりました。

その結果、米州全体の売上高は407億6百万円(前年同期比10.4%増、現地通貨ベース2.5%増)、損益面は営業利益18億82百万円(前年同期比4.0%増、現地通貨ベース3.5%減)となりました。

(欧州

シュリンクラベルは売上高131億68百万円(前年同期比15.3%増、現地通貨ベース4.7%増)、タックラベルは売上高42億73百万円(前年同期比4.1%増、現地通貨ベース5.4%減)、機械は売上高55億19百万円(前年同期比8.1%増、現地通貨ベース1.8%減)となりました。

その結果、欧州全体の売上高は229億61百万円(前年同期比10.5%増、現地通貨ベース0.4%増)、損益面は営業利益6億61百万円(前年同期は営業損失9億75百万円)となりました。

(アセアン)

シュリンクラベルは売上高63億86百万円(前年同期比1.7%増、現地通貨ベース5.6%減)、タックラベルは売上高1億41百万円(前年同期比14.9%減、現地通貨ベース21.0%減)、ソフトパウチは売上高62億81百万円(前年同期比5.6%増、現地通貨ベース2.0%減)、機械は売上高4億20百万円(前年同期比82.8%増、現地通貨ベース69.6%増)、その他は売上高58百万円(前年同期比71.6%減、現地通貨ベース73.6%減)となりました。

その結果、アセアン全体の売上高は132億87百万円(前年同期比3.6%増、現地通貨ベース3.9%減)、損益面は営業利益2億31百万円(前年同期は営業損失57百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,964億19百万円となり、前連結会計年度末と比較し164億15百万円の増加となりました。

その主な要因は、現金及び預金が65億75百万円増加したこと、受取手形及び売掛金(電子記録債権を含む)が47億67百万円増加したこと、棚卸資産が14億54百万円増加したこと、有形固定資産が32億18百万円増加したことなどによるものであります。

負債合計は640億59百万円で、前連結会計年度末と比べ46億26百万の増加となりました。これは借入金が20億88 百万円増加したことなどによるものであります。

純資産合計は1,323億60百万円で、前連結会計年度末と比べ117億88百万円の増加となりました。これは利益剰余金が56億85百万円増加したこと、為替換算調整勘定が65億2百万円増加したことなどによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、128億23百万円の収入(前年同期は29億25百万円の収入)となりました。これは税金等調整前四半期純利益102億18百万円、減価償却費62億59百万円などの計上、売上債権の増加額22億16百万円、法人税等の支払額22億21百万円などによる支出によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、62億円97百万円の支出(前年同期は83億9百万円の支出)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出47億99百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出12億4百万円などによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、2億19百万円の収入(前年同期51億63百万円の支出)となりました。これは、借入金の増加24億54百万円、配当金の支払額19億17百万円などによるものであります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ76億19百万円増加の249億67百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月8日に公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり2023年5月11日に公表いたしました2024年3月期の通期連結業績予想を修正いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

-	(単	4	云-	Ħ	Ш)
	- 里1	11/	н	//	ш	,

		(単位・日ガロ)
	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22, 034	28, 610
受取手形及び売掛金	45, 951	49, 455
電子記録債権	11, 353	12, 617
商品及び製品	9, 142	10, 775
仕掛品	5, 239	6, 641
原材料及び貯蔵品	11, 140	9, 560
その他	5, 353	5, 029
貸倒引当金	△192	△178
流動資産合計	110, 023	122, 511
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21, 345	26, 819
機械装置及び運搬具(純額)	19, 335	22, 852
工具器具備品(純額)	1, 967	2, 359
土地	8, 346	8,769
リース資産(純額)	244	253
建設仮勘定	9, 716	3, 181
その他(純額)	1,033	972
有形固定資産合計	61, 989	65, 207
無形固定資産		
のれん	50	1,028
その他	1, 498	1, 411
無形固定資産合計	1, 549	2, 440
投資その他の資産		
投資有価証券	4, 059	3, 627
繰延税金資産	1, 817	2, 092
その他	611	656
貸倒引当金	$\triangle 45$	△115
投資その他の資産合計	6, 442	6, 260
固定資産合計	69, 981	73, 908
資産合計	180, 004	196, 419
		,

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)	
負債の部			
流動負債			
支払手形及び買掛金	15, 279	16, 625	
電子記録債務	12, 254	10, 762	
短期借入金	9, 034	10, 823	
1年内返済予定の長期借入金	2, 699	2, 991	
リース債務	71	68	
未払金	3, 728	3, 130	
未払法人税等	1,000	797	
賞与引当金	1, 591	1, 089	
その他	9, 110	12, 525	
流動負債合計	54, 769	58, 814	
固定負債			
長期借入金	56	64	
リース債務	96	96	
繰延税金負債	800	1, 185	
退職給付に係る負債	2, 791	2, 973	
その他	918	925	
固定負債合計	4, 663	5, 244	
負債合計	59, 432	64, 059	
純資産の部			
株主資本			
資本金	5, 990	5, 990	
資本剰余金	6, 600	6, 599	
利益剰余金	102, 629	108, 314	
自己株式	△8, 479	△8, 446	
株主資本合計	106, 740	112, 458	
その他の包括利益累計額			
その他有価証券評価差額金	1, 773	1, 446	
繰延ヘッジ損益	_	$\triangle 1$	
為替換算調整勘定	11, 898	18, 400	
退職給付に係る調整累計額	158	56	
その他の包括利益累計額合計	13, 830	19, 902	
純資産合計	120, 571	132, 360	
負債純資産合計	180, 004	196, 419	

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)			
⇒ L 亩					
売上高 売上原価	136, 141 113, 929	144, 730 118, 956			
売上総利益	22, 211	25, 773			
販売費及び一般管理費					
対元貢及び、「放自垤貢」	16, 015	16, 583			
	6, 196	9, 190			
営業外収益 受取利息	F0.	957			
受取配当金	58 76	257 80			
還付加算金	137	84			
為替差益	137	998			
廃棄物リサイクル収入	21	24			
その他	30	39			
営業外収益合計	325	1, 485			
営業外費用	323	1, 403			
支払利息	77	284			
為替差損	310	284			
休止固定資産減価償却費	68	105			
貸倒引当金繰入額	_	63			
その他	1	_			
営業外費用合計	458	453			
経常利益	6,063	10, 222			
特別利益	0,003	10, 222			
固定資産売却益	21	16			
投資有価証券売却益	107				
受取保険金		% 1 25			
ゴルフ会員権売却益	2	×1 20			
特別利益合計	131	42			
特別損失	101	12			
固定資産除売却損	110	31			
投資有価証券売却損	0	—			
固定資産圧縮損	<u> </u>	* ₁ 14			
組織再編費用	*2 550	* 1 T1			
減損損失	×3 38	_			
子会社清算損	*4 11	_			
特別損失合計	712	45			
税金等調整前四半期純利益	5, 483	10, 218			
法人税、住民税及び事業税	1,731	2,700			
法人税等調整額	357	≥, 700 △84			
法人税等合計	2,088	2,616			
四半期純利益	3, 394	7,602			
親会社株主に帰属する四半期純利益	3, 394	7,602			
が女 正体工に冲海 どる四十岁紀刊盆	3, 394	1,002			

(四半期連結包括利益計算書) (第3四半期連結累計期間)

(第3四半期連結累計期間)		
		(単位:百万円)
	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	3, 394	7,602
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	254	△327
繰延ヘッジ損益	_	$\triangle 1$
為替換算調整勘定	10, 410	6, 502
退職給付に係る調整額	41	△102
その他の包括利益合計	10, 706	6,071
四半期包括利益	14, 101	13, 673
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14, 101	13, 673
非支配株主に係る四半期包括利益	_	_

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日	
	至 2022年12月31日)	至 2023年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期純利益	5, 483	10, 218	
減価償却費	5, 765	6, 259	
減損損失	38	_	
子会社清算損益(△は益)	11	_	
のれん償却額	37	55	
組織再編費用	550	_	
受取保険金	_	△25	
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3	33	
賞与引当金の増減額(△は減少)	△755	△546	
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	85	△15	
ゴルフ会員権売却損益(△は益)	$\triangle 2$	_	
固定資産除売却損益(△は益)	88	14	
固定資産圧縮損	_	14	
投資有価証券売却損益(△は益)	△107	_	
受取利息及び受取配当金	△135	△338	
支払利息	77	284	
為替差損益(△は益)	△298	△304	
売上債権の増減額(△は増加)	△5, 062	△2, 216	
棚卸資産の増減額(△は増加)	△5, 880	481	
仕入債務の増減額(△は減少)	2, 946	△931	
未払金の増減額(△は減少)	△188	△548	
その他	3, 122	2, 485	
小計	5, 779	14, 920	
利息及び配当金の受取額	134	349	
利息の支払額	$\triangle 64$	△249	
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2, 924	△2, 221	
保険金の受取額		25	
営業活動によるキャッシュ・フロー	2, 925	12, 823	
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△8, 378	△4, 799	
有形固定資産の売却による収入	12	16	
無形固定資産の取得による支出	△387	△177	
投資有価証券の取得による支出	$\triangle 27$	△29	
投資有価証券の売却による収入	331	_	
貸付けによる支出	_	△77	
貸付金の回収による収入	5	4	
連結の範囲の変更を伴う子会社の取得による支出	_	△1, 204	
その他	134	△29	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8, 309	△6, 297	
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,000	2, 500	
長期借入金の返済による支出	△5, 032	$\triangle 46$	
自己株式の取得による支出	$\triangle 0$	$\triangle 0$	
配当金の支払額	$\triangle 1,916$	$\triangle 1,917$	
その他	△214	△316	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5, 163	219	
現金及び現金同等物に係る換算差額	2, 237	873	
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△8, 310	7,619	
現金及び現金同等物の期首残高	24, 105	17, 347	
現金及び現金同等物の四半期末残高	15, 794	24, 967	
JULIAN JULIA NI NA PER I TANANAMI	10,101	21,001	

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) 該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(四半期連結捐益計算書関係)

※1 受取保険金及び固定資産圧縮損

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) 該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

保険金等の受取額は「受取保険金」として特別利益に計上するとともに、当該保険金等にかかる固定資産の圧縮記帳額は「固定資産圧縮損」として特別損失に計上しております。

※2 組織再編費用

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

欧州域内の構造改革に係る人員削減費用293百万円、及びFuji Seal Poland Sp. zo. o. のパウチ事業設備の休止に伴う減損損失257百万円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) 該当事項はありません。

※3 減損損失

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) 以下の資産グループにおいて減損損失を計上しております。

用途	場所	種類	金額(百万円)	
遊休資産	Fuji Seal Poland Sp. zo. o. (ポーランド/クトノ)	機械装置他	257	
売却予定資産	株式会社フジシール 奈良事業所 (奈良県/磯城郡)	建物及び土地他	38	

(注) Fuji Seal Poland Sp. zo. o. のパウチ事業設備の休止に伴い発生した減損損失257百万円 (機械装置他) は、組織再編費用として表示しております。 (※2参照)

当社グループは、原則として事業用資産については継続的に収支の管理を行っている管理会計上の事業区分を 基準としてグルーピングを行っており、遊休資産及び処分予定資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。

上記の資産のうち、Fuji Seal Poland Sp. zo. oの遊休資産については、帳簿価額を回収可能価額まで減額いたしました。株式会社フジシール奈良事業所の売却予定資産については、売却の意思決定に伴いその帳簿価額を回収可能価額まで減額いたしました。なお、当遊休資産及び当売却予定資産の回収可能価額は正味売却価額により測定しており、売却価額により評価しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) 該当事項はありません。

※4 子会社清算損

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) 当社連結子会社のPT. Fuji Seal Packaging Indonesiaを清算したことによるものです。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) 該当事項はありません。

(セグメント情報)

報告セグメントの概要

当社及び連結子会社は、シュリンクラベル・タックラベル・ソフトパウチ及び機械などを中心としたパッケージングの企画、提案、開発、製造及び販売等の事業を展開しております。

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会において経営 資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているもので、販売体制を基礎とした 地域別のセグメントから構成されており、当社の報告セグメントについては、「日本」、「米州」、「欧州」及び 「アセアン」の4つで報告セグメントを構成しております。

- I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

		報告セグメント				調整額	四半期連結
	日本	米州	欧州	アセアン	合計	調整領 (注1)	財務諸表計上額(注2)
売上高							
外部顧客への売上高	70, 675	36, 833	18, 098	10, 533	136, 141	_	136, 141
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1, 510	34	2, 677	2, 296	6, 519	△6, 519	_
±	72, 186	36, 868	20, 776	12, 830	142, 661	△6, 519	136, 141
セグメント利益又 は損失(△)	5, 764	1, 809	△975	△57	6, 541	△345	6, 196

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△345百万円は、主に未実現損益消去などのセグメント間取引消去であります。
 - 2. 報告セグメントのセグメント利益又は損失 (△) の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。
 - 3. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

米州:アメリカ、メキシコ

欧州:イギリス、オランダ、フランス、スペイン、ポーランド、スイス、ドイツ、イタリア アセアン:インドネシア、ベトナム、タイ、インド

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、奈良事業所売却の意思決定に伴う減損損失38百万円(建物及び土地他)、「欧州」セグメントにおいて、組織再編に伴う減損損失257百万円(機械装置他)を計上しております。

- Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					细事存	四半期連結
	日本	米州	欧州	アセアン	合計	調整額 (注1)	財務諸表計上額(注2)
売上高							
外部顧客への売上高	72, 549	40, 700	20, 401	11, 078	144, 730	_	144, 730
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1, 408	6	2, 560	2, 209	6, 184	△6, 184	_
≅ +	73, 958	40, 706	22, 961	13, 287	150, 914	△6, 184	144, 730
セグメント利益	6, 665	1, 882	661	231	9, 441	△251	9, 190

- (注) 1. セグメント利益の調整額△251百万円は、主に未実現損益消去などのセグメント間取引消去であります。
 - 2. 報告セグメントのセグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。
 - 3. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

米州:アメリカ、メキシコ

欧州:イギリス、オランダ、フランス、スペイン、ポーランド、スイス、ドイツ、イタリア アセアン:インドネシア、ベトナム、タイ、インド

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、取手ファーマ株式会社及びTAT取手アセットトレーディング株式会社の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことに伴い、日本セグメントにおいてのれんが984百万円増加しております。なお、のれんの金額は、第1四半期連結会計期間末においては取得原価の配分が完了していなかったため、暫定的に算出された金額でありましたが、第2四半期連結会計期間に確定しております。

(重要な後発事象)

(従業員持株会を活用したインセンティブ・プラン導入)

当社は、2024年2月8日開催の取締役会において当社の中長期的な企業価値を高めることを目的として、従業員持株会を活用した信託型のインセンティブ・プラン(以下、「ESOP信託」といいます。)の導入を決議いたしました。

1. 本制度導入の目的

当社のビジョン「人と環境にやさしい価値を届ける」の実現に向けた人的資本施策の一環として、当社の成長を支える従業員に対する福利厚生制度をより一層充実させるとともに、株価上昇へのインセンティブを付与することにより、当社の業績や株式価値に対する従業員の意識を更に高め、中長期的な企業価値の向上を図ることを目的に、本プランを導入するものであります。

2. 本制度の概要

ESOP信託とは、米国のESOP (Employee Stock Ownership Plan) 制度を参考に、従業員持株会の仕組みを応用した信託型の従業員インセンティブ・プランであり、当社株式を活用した従業員の財産形成を促進する貯蓄制度の拡充(福利厚生制度の拡充)を図る目的を有するものをいいます。

当社が「フジシール従業員持株会」(以下「当社持株会」といいます。)に加入する従業員のうち一定の要件を充足する者を受益者とする信託を設定し、当該信託は今後数年間にわたり当社持株会が取得すると見込まれる数の当社株式を一括して取得いたします。その後、当該信託は、当社株式を毎月一定日に当社持株会に売却いたします。信託終了時に、株価の上昇により信託収益がある場合には、受益者たる従業員の拠出割合に応じて金銭が分配されます。株価の下落により譲渡損失が生じ信託財産に係る債務が残る場合には、金銭消費貸借契約の保証条項に基づき、当社が銀行に対して一括して弁済するため、従業員への追加負担はありません。

3. 信託契約の内容

①信託の種類 特定単独運用の金銭信託(他益信託)

②信託の目的 当社持株会に対する当社株式の安定的・継続的な供給及び受益者要件を充足する従業員に

対する福利厚生制度の拡充

③委託者 当社

④受託者 三菱UF J 信託銀行株式会社

(共同受託者 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)

⑤受益者 当社持株会加入員のうち受益者要件を充足する者

⑥信託管理人当社と利害関係のない第三者⑦信託契約日2024年2月14日(予定)

⑧信託の期間 2024年2月14日~2029年2月末日(予定)

⑨議決権行使 受託者は、当社持株会の議決権行使状況を反映した信託管理人の指図に従い、当社株式の

議決権を行使します。

⑩取得株式の種類 当社普通株式⑪取得株式の総額 1,120百万円

⑫株式の取得期間 2024年2月20日~ 2024年5月10日 (予定)

(なお、決算期(中間決算期、四半期決算期を含む。) 末日以前の5営業日から決算期末

日までを除きます。)

⑬株式の取得方法 取引所市場より取得

以上